

JARL

香川クラブ報

No. 307 平成11年12月15日



J A 5 Y D E

忘年会のご案内

今年も一年いろいろな事がありました、皆様方は如何でしたか。

まもなく、今年の十大ニュースが新聞紙上を賑わすことでしょうか、相変わらずの不景気と雇用不安。巨大与党を背景に国民を無視した数々の法案通過。中でも国民生活にもろに影響してくる「通信傍受法」や「国旗・国歌制定」など、十分な議論のないまま法律化され、今後のことを考えるにつけ考えただけでも頭が痛くなってきます。

また、極めつけは「東海村放射能漏れ事故」「H2 ロケット打ち上げ失敗」など、明らかに人災と言わざるをえないような事故。犯罪を取り締まり、私達の生活を守ってくれているはずの「警察官による相次ぐ不祥事」や「幼児虐待」など背筋が凍るような事件。何とかの大予言じゃないですが、台湾やトルコなど世界のあちこちで起こっている大地震はいったい何を意味しているのでしょうか。

2000年はもうすぐです。コンピュータの「2000年問題」はいったい我々にどのような影響を及ぼすのでしょうか。何かとてつもない事件が起こりそうな予感がするもの、ただの杞憂に終われば良いのですが。

残すところ今年も後わずかとなりましたが、クラブの一年を振り返りますと、ボーリング大会、高松市総合防災訓練への参加し、各種コンテストやARDFにも積極的に参加し実りの多い年でした。また、何と言っても「8J5AAA」の運用が一番大きな出来事であったでしょう。クラブ創立50周年？いや高松市趣味協会20周年記念事業？最終的にはアマチュア無線活性化特別局とつぎつぎに特別局の趣旨が変わりましたが、クラブ員各位の献身のご協力によりまして1ヶ月間というロングランQSOを乗り切ることができ心に残る一年であったように思います。

ところで表題のとおり、クラブ恒例の忘年会を下記のとおり開催いたしますので、年末のお忙しい時期ではありますが万障お繰り合わせの上、ご参加されますようご案内申し上げます。無線に関係有ること無いこと、人生の悲喜こもごも何でも結構です。大いに飲んで食べて喋って歌って、嫌なことは過去に楽しいことのみ来年に持っていけるよう楽しい一時を過ごしましょう。

記

日 時： 12月23日（木）天皇誕生日

18：00から

場 所： 「いもたこなんさん本舗」

高松市古馬場 7-10

(TEL:0120-168203)

会 費： 男性 5,000円

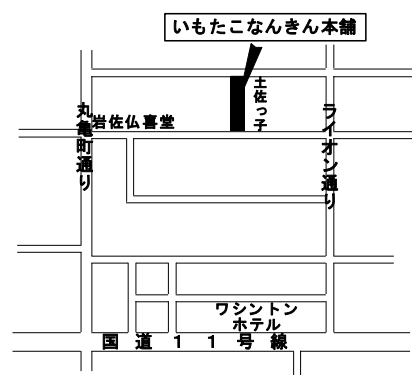
女性 4,000円

申し込み： 締め切り

12月17日（金）厳守

連絡先： JH5EZB 三木博之

JH5WMN 山口博司



クラブミーティングの報告

11月2日(火) 東ハズのグリーンハウスにおきまして、今年最後のクラブミーティングを開催しました。冒頭、天野会長よりあいさつがあり議題に入りました。

「8J5AAA」について報告があり、運用日別、エリア別、運用者別、運用周波数及び電波型式別など各方面から集計した表を見ながらいろいろ回顧しました。

また、関連行事である「高松市趣味協会20周年記念式典」(9月21日・ホテル徳寿)への出席依頼があり、参加・協力をしようということで話し合いました。

その後、クラブ恒例の忘年会について検討し、1ページにご案内のとおりとなりましたので、万障繰り合わせてご参加ください。

12月1日から始まるJARL香川県支部主催の「香川マラソンコンテスト」の参加についても話し合いました。運用の協力はもちろんですが、期間中各種バンド・モードで出ますので、「JA5YDE」のコールサインが聞こえたらサービスをお願いします。

今年のクラブ行事も「香川マラソンコンテスト」への参加と「忘年会」のみとなりましたが、1人でもたくさんの参加でクラブの活動を多いに盛り上げるようお願いします。

＜参加者＞ JA5AHM・JA5UY・JA5TFJ・JH5EZB・JH5LYW
JH5PMZ・JH5WMN・JR5EBH・JE5PBO・JF5ICA

高松市趣味協会創立20周年記念式典

高松市趣味協会の創立20周年記念式典が11月21日(日)18:00から花園町の「ホテル徳寿」において開催されました。

受付において参加者全員に鉢植えの花が贈呈されました。

記念式典が始まり、その席で「JARL香川クラブ」は協会設立の年から加盟し、協会の発展に尽くしたとして“永年功労団体表彰”を受けました。

次第にしたがって式典も無事終了し、祝賀会に移りました。

祝賀会では、名誉会長に就任しているJA5AHM天野OMが乾杯の発声をし、宴に入りました。途中、「8J5AAA」について報告を求められ、JH5LYW三好OMが開局準備、運用期間ならびにエリア別交信数や交信国名などを簡単に説明し、またアマチュア無線の素晴らしさをPRしました。

奇術や隠し芸、カラオケ等で会場はおおいに盛り上がり、また各クラブの活動や主な行事や協会に対する要望等がインタビュー方式で行われ、最後に「JARL香川クラブ」に順番が回って来ました。JH5WMN山口OMが最後を締めて、後お楽しみ抽選会が開催されました。

賞品は、各テーブル中央に置かれた大きな鉢の花です。我がクラブからはJE5PBO岡田OMが見事にゲット。2時間あまりの式典も祝賀会もあつと言う間に過ぎ去り、閉会となりました。

<参加者> JA5AHM・JA5TFJ・JH5EZB・JH5LYW・JH5WMN・JE5PB0・JF5ICA

紅葉の八ヶ岳と昇仙峡

JH5LYW

今年の全日本ARDFは、山梨県にある八ヶ岳高原で開催されました。これより先、5月9日に大野原町で開催された四国地方ARDF大会で選抜されており、今年は「成績はともかく、せめて全部のTXを見つけるぞ」と意気込んで出発しました。香川県からの参加は8名。うち我がクラブからは私を含め下記の5名が参加しました。遠距離のため、日程や旅費の関係でそれぞれグループ毎の別行動となりました。

往路は私と東京へ出張のXYL(JH5PRJ)と2人、そしてJF5MED・TJJ 山田氏ご夫妻・JA5UAA・JG5JBZ各局が乗った車と2台で一緒に鳴門経由で一路山梨に向かいました。駒ヶ岳SAで各局と別れ、私達は息子(JE5IKW)がいる甲府市内に向かいました。

久しぶりに家族3人で夕食をとり、息子の運転する車で八ヶ岳の宿泊所に送ってもらい先行の各局と合流しました。宿舎では明日の大会に備え話がはずんでおり、またアルコールもかなり入っていました。明日に備え早めに就寝する者もいましたが、結局私が寝たのは0時をかなり過ぎてしまっていました。

「ゴトゴト・ガチャーン」の音に目を覚ますと真っ暗、時計を見るとまだ5時過ぎ。「目がさめるのは結構だけど人の迷惑を考えてよ」と思いながら床に就いているものの、次々と他の者も起きだし、とても寝ておられる雰囲気ではありません。30分ほど辛抱していましたが、文句を言いながらついに起きることにしました。

朝食・洗面などをすませ、寝不足気味を除き体調は万全。「さあ、頑張るぞ」気合十分で受付をすませ、受信機の組立て、持ち物チェック、何時ものARDFの参加スタイルです。恒例の開会式、準備運動が終わり選手の控え場所へ移動。皆思い思いにスタートまでの時間を待ちます。私は7組で10時30分、いよいよスタートです。



走り出したとたん、どうした訳か方向が分かりません。

「とりあえず小高い開けた所へ」と思い進むも、ますます自分のいる位置が地図上で確認できず、回りは木々がおおい茂りどちらを見ても同じ風景。目標となる目印も無く、ただ右往左往するばかりです。こんな経験は、5年前の北海道大会で熊笹の中に入り込んで以来のことです。どうしても頭の中で切り替えができず、「このままじゃ、TXを見つけることはおろかゴールもできなくなる。こうなりゃ、地図を見るよりひたすらTXを追うしかない」と考え、がむしゃらに目指すTXに集中することになりました。幸いなことに回りの木々は茂っているものの下草や低木類の棘等が少なく道でなくても何とかかなりそうです。藪を突き進んで

2番をゲット、続いて3番をゲット、4番が強いのでそちらに向かうも、行けども行けども強さが変わらない。途中1番が強くなったが「これは帰りに」と判断し、ひたすら前進のみです。やっとゲットし最後の1番へ向かいます。4番に行く途中目安をつけていたので、その方向？に向かって進みますが制限時間が刻々と迫っています。「後20分、これで見つけられなかったらあきらめよう」と思ったとき電波が出て、思い切って川を横切り駆けあがるとその向こう側に第1TXを発見。後はゴールを目指すだけです。が、まだ相変わらず自分の位置が把握できません。「いったい今日はどうしたのかと自問自答するも、どうにもなりません」ビーコン周波数に切り替えて一直線に、藪を、丘

を、川を駆け抜け、やっとゴールしました。

今年は、T Xや審判員の配置等はかなり研究されており、巧妙に設置されていましたが、前夜祭や競技会の細部については不都合が多く、スタート・ゴール地点では地方大会でも見受けられないような不手際もかなり見受けられました。

今後の大会に反省として生かしてほしいものと感じました。

それぞれ自分の成績やT Xの位置、失敗談など交わしながら閉会式です。一緒にメンバーに入賞者はいないので「温泉でも浸かりに行こう」と JF5MED ご夫妻・JA5UAA・JG5JBZ の各局と私の5人は会場を後にし、甲府市内に移動しました。

甲府湯村温泉「ホテル湯伝」で湯に浸かり、競技会を振り返りながらゆったりと汗と悔しさを洗い流し、今夜の宿泊するホテル「シティホテル紫玉苑」へ移動です。それぞれ競技中の反省や悔しさ、情けなさを肴に食べたり飲んだり。「あっ」という間に時間が過ぎ去り、何時の間にか深い眠りに落ちていました。

のんびりとした朝を迎え、今日は JF5TJJ さんリクエストの「昇仙峡」散策です。

平日のせいかあまり観光客もいません。ゆっくりと景色を見たり写真を撮ったりしながら、紅葉と溪谷美にうっとりとしながら登って行きます。ロープウエーで展望台まであがると、眼下に緑と黄と赤のジュータンを敷き詰めたような別世界が広がっています。あいにくの曇り空で、昨日はまるで有名な写真家が写した写真から抜け出たように見えていた富士山、八ヶ岳、アルプスの山々が今日はぼんやりとしか見えません。一番高い岩場にのぼり、滑り落ちれば奈落の底みたいな岩場の端まで恐る恐る近づいてみると、まるで子供がはしゃぐように我々だけの時間が過ぎて行きます。後ろ髪を引かれながら現実に戻り下山しました。昼食を取っていると、外は雨が降り出しました。一同顔を見合わせ「観光が終わっててよかったね」それぞれ土産を買って、後は一目散に帰るのみです。

こうして、紅葉の八ヶ岳と昇仙峡の旅は終え、無事帰ることができました。来年の、全日本 ARDF は関西地区とか？「また来よう」と約束をして解散しました。

‘99 全日本 ARDF 競技大会成績

クラス	大会順位	コールサイン	所要時間	探索数	感想
YL	第8位	J F 5 I C B	1時間56分27秒	3個	後1個がわからなかったくやしい
"	失格	J F 5 T J J	タイム無し	2個	帰る道が分からず審判のお世話になりました
OM	第11位	J F 5 M E D	1時間54分34秒	3個	第2 T Xを見過ごして、それが最後まで響いた
"	失格	J F 5 I C A	2時間02分23秒	4個	スタート時間を5分勘違い。入賞したと思ったのに
OT	第24位	J H 5 L Y W	1時間56分21秒	4個	目標の4個はゲットしたが修行が足りない情けない
"	第45位	J A 5 J K C	1時間59分14秒	2個	
VT	第6位	J A 5 U A A	1時間25分17秒	1個	
"	失格	J G 5 J B Z	2時間29分39秒	無し	



「日赤香川県支部防災ボランティア災害救助訓練」

J A 5 T F J

最近各地で各種防災訓練が実施されているが、日赤香川県支部においても、去る 10 月 24 日(日)09:00 から台風襲来に伴う洪水災害対策訓練が、防災ボランティアを対象に実施され、日赤アマチュア無線奉仕団の一員として訓練に参加したので、概要を報告します。

訓練は、高松市二番町公園を市内水田地域と仮定して、春日川堤防決壊による住宅床上浸水・主要道路、橋梁等の決壊・交通寸断・住民の負傷者、病人発生から日赤香川県支部に災害救助要請があり、日赤支部では急遽庁舎内にアマチュア無線基地局を開設するための召集が掛けられ、私と同奉仕団メンバーの JA5TZU 菰刈 OM が日赤支部に登庁すると共に、早速基地局を開設し災害現場との非常通信訓練に当たった。

一方、日赤支部の防災ボランティアに登録済みの要員に対し、携帯電話等で非常召集を発令し、参集する要員からの連絡を受けると共に、各救助作業等の指示をアマチュア無線回線及び日赤の業務用無線回線を使用して実施した。

防災ボランティア要員の中にはアマチュア無線のコールを持った者も多く、非常参集の様子や現場

に向かう途中での罹災状況等を、刻々とアマチュア無線回線で日赤基地局に通報してきた。

そして、災害現場からは救急薬品・毛布・食料品・飲料水等の救援要請や医師、炊出しに必要な物資及び炊出し要員の応援要請等が次々と無線で送られ、基地局では支部内の各担当係に手配、通信連絡に努めた。

災害現場では、非常食の炊出しや負傷者の救出活動、応急手当等の医療活動が防災ボランティアを中心に地域の主婦など参加者全員で積極的な訓練が行われた。

最後に二番町公園に参加者全員が集合し、日赤支部職員による訓練講評があった後、炊出しの非常食と豚汁を全員でいただき、12 時過ぎに全訓練を終了した。

今回の訓練では、基地局要員が 2 名で、無線回線が 3 系統、有線回線 2 系統を担当したため通信連絡輻湊時には十分な対応ができなかったことを反省点として、今後は通信系毎に担当者を配置するなど、災害通信対策の本番に備え万全を図りたいと考えている。

なお、防災ボランティアのメンバー中、アマチュア無線のコールサイン保持者は、東讃地区から JA5JKC(金森氏)のほか、各地域からも若手の各局 5 局が参加され、日頃の通信技量を発揮してスムーズな防災通信活動を実施した。訓練を通して、いろいろな教訓を得ることができ大変有意義な一日であった。



スペイン旅行記 (Ⅳ)

J A 5 D Z M 長尾和子

スペインに住む“E A 3 C M” (Rosa Maria Montserrat) とのアイボールを兼ね「情熱の国スペインベストハイライト 10 日間」のツアーに参加した長尾さん一行の旅行記 (前号からの続き) です。

八日目：

早朝、0M と散歩がてら、ランブラス通りをコロンブスの塔まで出かけました。。

アメリカ大陸を発見したコロンブスが海の彼方を指さす、ボルナル・デ・ラ・パリ広場まで目の前が海です。朝の空気は何処も同じ。並木から落ちた木の種を記念の品に。名前はわからないのですが。

今日のガイドは日本人女性です。

バスはモンジェイクの丘へ。1992 年バルセロナオリンピックのメイン会場となった所です。

オリンピックスタジアムや記念公園があり、丘からはスペイン最大の海港が見渡せます。

朝露の芝生が一段と新鮮でした。

偉大な建築家がガウディ (Antoni Gaudi Cormet) 設計による建物が目抜き通りにあります。

カラフル且つ奇抜なデザイン、曲線がおもしろいグエル公園へ。

とかげの噴水やファンタスティックな建物、曲線とタイルを使ったベンチの広場はゆっくりと居たいところです。

今は市の公園として開放されています。

サグラダ・ファミリア教会はバルセロナのシンボル。ガウディの未完の大作で、一世紀に渡り延々と建築中です。

ガウディの意志を継いだ人達が今もコツコツと理想の教会を目指して建て続けています。

タイミング良く、先日 NHK・BS「地球に乾杯」でその様子が放映されていました。

市民の寄付と観光収入で建てられていて、いつ完成するのか「神のみぞ知る」のでしょうか？

お昼時、通りではパホームスを見ました。全身黄金のカップル、瞬きひとつしません。箱に 40pts 入れると、こちらを見てポーズを取ってくれるのです。そこで、彼らと「はい、パチ」といった具合です。レストランでは、日本人の団体ばかり 4、5 組が一緒でした。

午後は 60Km 離れたモンセラー (Montserrat) へ。

灰白色岩がニギニギと天にそびえ立つ奇怪な形をした山で、標高 1,235m もあります。中腹には修道院が建てられていて、マリア信仰の聖地となっています。

黒いマリア像に礼拝しました。この修道院にはエスコラニア (Escolania) と呼ばれる少年合唱団があり、起源は 13 世紀。ヨーロッパで最も古い合唱団の一つです。

毎日 13 時と 18 時 45 分に天使の歌声、ボーイソプラノが聞けるとのことです。

残念ながら時間の都合で聞くことができず、セットテープを買ってきました。

ツアー最後の晚餐は、ホテルでのバイキングでした。

ヨーロッパからの旅行者も一緒です。体格の良い彼ら、肉の量や酒の量が違います。

毎食の飲み物は自前で、水 200pts、ワイン 400pts、ビール 200pts、ジュース 400pts 等で



す。今夜は、赤・白のワインが旅行社から差し入れられました。
食事中、〈E A 3 C M〉Rosa さんが姿を見せました。一目でわかります。

"Ja.Kazuko"、"Ja....."感激の再会です。

3 年前とちょっと変わらない F B な RosaMaria。雑誌の編集をしている彼女は OM(EA3VM)と 2 人のお嬢さんの 4 人家族。

カタルニア出身で明るい陽気な性格は、OM や AHM さん、CBF さん達も一緒の FB なアパールになりました。

まずはプレゼント、QSL の交換。何種類ものカードを持参してくれました。

JARL 香川クラブ 50 周年記念 QSL カードは、青鬼くんや瀬戸大橋が珍しかったようです。今はインターネットにハムライフ、21MHz で ON AIR しておられます。

しかし、スペインでは JA の YL のように度々ミーティングが出来ないそうです。

Ham 人口が少ないためでしょうか。

「昼間、Montserrat へ行った」と話すと、彼女の故郷だそうで「Iast name にモンセラット(Montserrrt)が付くのよ」と説明してくれ、たいへん喜んでいました。

Rosa さん曰く「私は 10 日も日本に行ったのに、Kazuko はすぐ帰ってしまう。今度来る時は、長く居て」と。
名残惜しい別れになりましたが、またの再会を約束をして彼女を皆で見送りました。
生涯の思い出深い一日になりました。

(次号に続く)



前年度までの会費が未納の方は早急に納入をお願いします。
また、平成11年度会費につきましても早急に納入をお願いします。

*** 会費納入口座

JARL 香川クラブ ***

将来のインターネットサービスに対応して、現在「電子メールアドレス」を取得している方は、差し支えなければ連絡下さい。

Eメール：JH5LYW
JH5WMN

JARL 香川クラブ報

発行責任者	JA5AHM	天 野 英 弘
編 集 者	JA5TFJ	横 田 壽 夫
	JH5LYW	三 好 伸 幸
	JH5WMN	山 口 博 司
	JE5PBO	岡 田 光
事 務 所 〒		天 野 英 弘 方
郵便振替口座		JARL香川クラブ